

学園だより

社会福祉法人 至誠学舎立川

至誠学園

平成23年3月20日

〒190-0022 東京都立川市錦町 6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://shiseigakuen.org/> Email: info@shiseigakuen.org

発行 児童事業部 広報委員会

東日本大震災に被災された方々に 心よりお見舞いを申し上げます



平成23年1月12日新春講話。至誠学園ならびに至誠大地の家の職員全員で。

法人創業 99 年 児童養護認可 60 年 時代のニーズに対応する学園

東日本大震災の発生に伴い、当法人にも震災対策本部が設置されました。まだ余震もあるため、非常用ラタン、飲料水、非常食の準備をしています。

また、計画停電により小中高の授業は変則的になっており、グループホームが多く、子どもたちの生活の場が離れている学園では、子どもたちの状況を把握するために、定時連絡など最善の注意を払っています。

子どもたちもそれぞれ自分達には何ができるのかを考えて、節電など工夫して過ごしています。

一日も早い被災地域の皆さまの生活の再建と復興を心よりお祈り申し上げますとともに、私たちも当事者としての思いを持って過ごしたいと考えて、以下の対応の準備を進めております。

震災被害を受けた子どもたちの受け入れ
東京都および被災県の要請により、家族を失ったり、養育困難となった子どもたちの養育を学園で引き受ける用意をしています。

職員の救援派遣
厚労省の要請により派遣する準備をしています。

義援金の募集
東京都社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会による義援金募集に協力します。

< 高橋利一統括学園長 >

東京都機能強化型施設

施設運営向上事業の取り組み

至誠学園内職員専門研修

困難事例のケースカンファレンス 年 10 回
法政大学 皆川邦直教授
リーダー職員向けの研修。愛着に関する文献をあたり、新しい研究動向の情報を共有し、ケースカンファレンスでスキルアップを目指しました。

法人の理念とケアワークの基礎 年 8 回
淑徳大学 金子保教授
新任職員向けに至誠学園の養育理念とケアワークの基礎概念を学びました。今年は「学園歌」にスポットを当て、歌詞から法人理念へとつなげて考えたので、楽しい研修になりました。

子どもの心理理解 年 4 回
山梨県立大学 西澤哲教授
愛着障害と発達障害について学び、職員の子どもの理解をさらに促すことができました。また、西澤先生の実践や学園の事例から、子どもの心の動きのプロセスを学びました。

子どもの学習支援 年 6 回
法政大学 小野純平教授
学習のつまずきにおける認知的要因と情緒的要因のとらえ方について、知能テストと愛着と関連つけて学びました。

児童福祉制度政策
至誠学園 高橋利一統括学園長より最新の児童福祉の制度政策について学びました。

家族療法
至誠大地の家の川井尚先生より家族面接の基本について、法人の保育園の先生方と一緒に学ぶことができました。



「虐待ネグレクトが子どもの情緒的知的発達に及ぼす影響」研究会 - 小野純平先生
さらに一歩進めて研究会を発足させ、外部の小学校の先生方と共同で、最先端の研究を学びながら情報共有する機会をつくっています。(写真上)

至誠学園外部の研修

東京都の児童養護施設等の職員の資質向上のための研修事業の補助金をいただき、子どもたちへのケアの質の向上に向けて、職員は様々な分野で学びました。(補助金はこれらの一部にいただいています)

ペアレントトレーニング 10/1-3
神戸少年の町主催。家族支援ための指導者養成の講座。国分美希副施設長参加しました。

児童養護施設職員指導者研修 10/26-29
子どもの虹情報センター主催 1名参加
第64回全国児童養護施設長研究協議会
11/17-19、岡山で行われた全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会の主催による研修に、学園長はコーディネーターとして、石田芳朗施設長は発題者として参加しました。

児童福祉施設指導者合同研修 12/1-3
子どもの虹情報センター主催 1名参加
児童福祉施設職員のためのワークショップ
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団主催
1/25-26、サンフランシスコ州立大学カウンセリング
学科名誉教授、田中万里子先生を講師に、ワークショップ形式で子どもとのコミュニケーションスキルを中心に学びました。学園、大地の家から2名ずつ参加。

日本子ども虐待防止学会
第16回学術集会くまもと大会 11/28-29
福祉の視点からだけでなく、心理、医療、教育、司法など様々な側面から子どもを取り巻く環境を学ぶことができました。参加職員は5名。

滝野川学園職員研修 受け入れ 1/18-29
知的障害者施設の職員の研修を受け入れました。

施設訪問をさせていただきました
職員自身のかかわりを客観的に見直し、それぞれの施設の理念と使命を学ぶ機会となりました。

- 函館 自立援助ホーム「ふくろうの家」
- 岩手 岩手愛児会情緒障害児施設「ことりさわ学園」
- 児童養護施設「みちのくみどり学園」
- 箱根 「恵明学園」
- 静岡 「デンマーク牧場」

- お忙しいなかのご協力ありがとうございました -

子どもたちの自立に向けての様々な研修

至誠大地の家 事業報告会 12/15

開設から1年間のまとめの報告会を職員皆で行いました。コンセプトをどのように実践し、進めていくのか、まとめる機会になりました。次回の報告会は6月予定。



福祉QC活動に参加（学園・大地の家）3/7
「福祉QC」活動は、管理者と職員が解決すべき課題を共有し、活動期間を決めて具体的に問題解決をはかり、「サービスの質の向上」に結びつけていく手法です。至誠学園、至誠大地の家の他に法人の保育園、高齢ホームの参加もありました。

至誠学園
テーマ：「引き継ぎのミスをなくす」
参加職員4名
(写真右)
至誠大地の家
テーマ：「子どものくずりを少なくする」
参加職員3名
(写真左下)



NPO 法人エンジェルサポートセンター
自立支援プログラム 修了式

生活技術や社会の仕組みを学ぶプログラムに今年も学園から中学生が参加しました。修了証の授与とともに協賛企業のフィリップモリスジャパン様からは新生活のための家電製品やスーツなどのお祝いをいただきました。社会人マナーを学ぶ「資生堂エンジェルラウンジ」では、メイクや服装など身だしなみやテーブルマナーについて、資生堂様、AOKI 様、ザ・クレストホテル立川様による講義が行われ、自立に向けた貴重な経験を得ることができました。(写真右上)

里親（至誠さくら支部）への支援
学園長が中心となって懇談会、役員会、研修会などに支援しています。なお総会（4/24）には関係する多摩地区の施設長も参加の予定です。

高校生「自立のためのステップトレーニング」
(全11回 2月末-12月末)

ゴールドマン・サックス証券株式会社、至誠学園卒園生友の会、エンジェルサポートセンターのご協力により、高校生の自立に向けて卒園前のリービングケアの一環として、実践的な衣食住に関する訓練と自らの自立への意識とイメージ作り、仲間とつながりを深めるためなどを目的としたプログラムです。
参加した子どもたちは、自分の将来や進学のことを考えるよい機会をいただきました。

講師のお話を聞いた高校生の感想文から

- ・18歳から22歳の間の4年間の大きさを疑似体験することで自分の気持ちに変化をもたらした...
- ・大卒と高卒の年収の差が大きくあることに驚いた
- ・学校に行けば友達や先輩や先生がいて、自分とは違う意見を持っている人たちがたくさんいる、そして相談出来る人がいる学校は勉強するところもあって、人間関係や自分を見直せる場所なんだと...



(写真左)
夏合宿にてゴールドマン・サックス社員の方に講師として参加していただきました。

小学生向けワークショップ -JAM ネットワーク
<コミュニケーション研修> 児童7名と職員参加

東京都社会福祉協議会とゴールドマン・サックス証券株式会社による児童養護施設の児童の進学を支援するプロジェクト(JAM ネットワーク 11月 12月まで6回実施)に参加しました。
子どもたちが自分を表現する力を身につけることにより、コミュニケーション能力を高め、積極的に自分の人生を歩いて行けるようになることが目的です。集中力、聞く力、決断力、選択力などを養うものですが、ゲーム感覚で参加できる工夫がされていました。

(子どもたちの感想から)
「はあ、もう終わりかよ」「選べなかったけど、選べるようになったよ」「少し変わった気がする」
(職員の感想)
「日常的に子どもの遊びに取り入れると、子どもたちの語彙を増やしていく訓練になると実感した」「子どもの想像力、観察力に感動」「集中が途切れそうになった子どもに、声をかけたりカバーしてくれる子がいた」
(講師の講評)
最終日のプレゼンテーションでは、自分の考えや思いをしっかりと発表することができた子どもたちに、涙がでました。

子どもたちの生活から

クリスマス会 12/24

子どもたちが中心となって2部制でクリスマス会を行いました。マジックや高校生男子によるダンス、職員合唱等を、2部には豪華なお料理に囲まれ、みんなで楽しい時間を過ごしました。

本園のお正月

大晦日には鐘つき、元旦はグループホームや至誠大地の子どもたちも一緒に屋上に出て、初日の出を見て元旦式をしました。書初めは2日。今年も獅子舞が来てくれました。



勝浦のお正月

12/31 ~ 1/3

8名の子どもたちと職員で、勝浦の家でお正月を迎えました。年末の大掃除からはじまり、鐘つき・初詣・書初めと、有意義なお正月を過ごしました。



節分 2/3

今年、兎年の子どもたちと職員で学園中に豆をまいて福を招きました。また鬼のお面コンテストを行いました。



ひな祭り会 & 学園長先生お誕生日会 3/2



女の子の成長を祝うためのひな祭り会が行われました。日舞を披露し、美味しいご馳走をいただきました。



学園長先生の72回目のお誕生日で、子ども、職員の全員でお祝いしました。皆と同じ時を刻めるようにと、今年も学園全員の顔写真の入った時計をプレゼントさせていただきました。

ご招待いただきましてありがとうございました

(敬称略)

グロブナークリスマスパーティ 12/8

美味しいお食事と会場での大道芸も大盛況。



社長の芦澤様がサンタクロースに扮して、子ども達ひとりひとりにプレゼント。また園庭整備も応援してくださっています。

ヒルトン東京クリスマス会 12/8

大使婦人とのクリスマス会にご招待いただきました。豪華な料理とケーキもたくさんあり、ゲストで呼ばれた小錦さんと一緒に写真を撮りました。プレゼントのほかにテーブルの上にあった大きな風船もいただきました。

サンリオクラシックー府中の森芸術劇 2/5

キャラクターと一緒に弦楽器等が音楽を奏で、心地の良い時間を過ごすことができました。親しみやすい音楽で、子どもたちも興味をもってさまざまな曲を聴くことができました。

サウンドオブミュージック 2/13

劇団四季で活躍されている阿部幸様(シスターソフィア役)とこのたびご結婚された中條郁司郎様よりご招待をいただきました。

阿部様は、子どもたちのために何かできないかと考えて下さり、10年ほど前からポケットマネーでチケットを購入して学園の子どもたちを毎回招待してくださっていました。その素晴らしい舞台を見て、子どもたちは毎回元気や感動をもらっています。今回は舞台の上から子どもたちに手を振っていただきました。これからは、ご夫婦で子どもたちの心の成長に力を貸してくださいることになりました。

バスケットボール

(東京アパッチ対ヒートデビルス) 1/6

ーゴールドマン・サックス証券株式会社

迫力に圧倒された子どもたちでしたが、選手にハイタッチもしてもらい感動していました。

キッズニア 1/23, 1/30

ー東京善意銀行を通じて皆様

ハンバーガーショップ店員・警備員・新聞記者、ABCクッキングの体験をしたり、車の免許[子ども免許]の取得等さまざまな職業体験を行ってきました。制服も着せてもらい、本格的な体験に子どもたちも大喜びでした。

プロレス 2/4

『安田忠夫引退記念興行プロレス』実行委員会を通じて皆さまにご招待いただきました。子どもたちはレスラーの力強い技の応酬に圧倒されつつも独特の雰囲気を楽しみ、タイガーマスクの等身大のバルーンアートをいただきました。

こどもたちの海外交流

タイからのお客様 (3/8)

日本政府の事業仕分けにより日タイ児童養護交換研修は残念ながら廃止となってしまいました。しかし、民間の努力で続けようと未来財団から日本児童養護実践学会が引き継ぎ、タイ政府と合同で実施することになりました。今回はタイ厚生省副局長を団長として、研修先の施設長、スタッフの方々が視察され、日本舞踊を披露した子どもたちとの交流を楽しめました。



韓国から日本のグループホームを視察 (1/19)

一昨年、「2008 児童福祉とグループホーム国際セミナー」に学園長と職員が韓国を訪れましたが、今回は韓国の方々が学園を訪ねられ、グループホーム「並木の家」では、子どもたちが焼き焼きで歓迎しました。



「韓国の月ってどんな感じに見えるんですか？」という子どもの質問に対して『月と一緒にだよ。』と返され、笑いの絶えないひと時でした。

学園卒園式 (3/19)

今年度は6名の子どもたちが学園を巣立っていきました。震災が起きて間もない時でしたが、子どもたちの大事な節目であり、未来ある子どもたちにとって大切な日と考えて、式典のみの卒園式となりました。子どもたちを支えてくださった多くの方々も出席していただき、子どもたちへたくさんの励ましのお言葉をいただきました。



苦情解決委員会

今年度2月末現在までの委員会としての活動は0件でした。学園の様々な行事の折に、子どもたちの生活の様子をごらんいただき、子どもたちの成長を見守ってくださっています。木津川迪洽さん(弁護士) 名取種子さん(立川市人権擁護委員) 石川親治さん(元立川市立第三中学校教諭)の皆様です。

至誠大地の家

日々の暮らしの中で幼いながらも、子ども同士でいたわる気持ちが育っていると感じる場面に出会うと心が温かくなります。2歳のNちゃんと3歳のJちゃんが、遊んでいて、ちょっとぶつかったときに、「Nちゃん押されたら、悲しいの。」「ごめんね。」

子ども同士の育ちも大切にしていきたいとあらためて思います。



(左)日本ツリーイング協会インストラクターの清水先生にご指導を頂き、至誠学園のけやきの木を使ってツリーイングを教えていただきました。

高橋誠一郎施設長

モンテッソーリ立川こどもの家



<節分>
いろいろなお面をつけて、それぞれオニになりきっていた子どもたち。園長先生にみてもらっています。

子どもたちが牛乳パックと画用紙で作ったおにのおめんをかぶって、豆まきをしました。泣いたり、怒ったり、笑ったりしている様々な顔で、みんなすてきにできあがりしました。子どもたちは、暖かく見守られていることをしっかり感じる事ができ、いい経験になりました。

まことくらぶ

みんなで谷保天満宮に初詣に行きました。自転車、車とそれぞれ5つのグループにわかれて向かいましたが、みんなでお賽銭を入れて、神妙にお参りをしました。



卒園生友の会

毎年、正月の1月2日に集まり、子どもたちをボウリングに連れて行ってくださり、夜はスキ焼パーティをしてくださっています。

また、学園の子どもたちの自立のために「高校生の自立支援プログラム」の運営にご協力をいただきましてありがとうございます。

<海外からのおたより 卒園生 F さん>

至誠学園も4月ではや60周年を迎えられるとのこと、おめでとうございます。

至誠学園に入園したのは、保育園の年長の時でした。(中略)あれからもう12年、私は中国の大連に拠点を置く韓国系 IT 企業で働いています。グローバル化が進む世の中では、日本だけにいるのではなく、外に出てもっと多くのことを経験したいと思ったからです。<中略>

来中して早 2 年、生活にも慣れてきたこの頃です。私の密かな目標ですが、微力ながらも東アジアの懸け橋になりたいとずっと思っています。

東アジア諸国は地理的に近くとも、政治的、感情的にもまだ多くの問題を残しています。特別なことは何もできませんが、日中朝の文化が色濃く混ざる大連という土地で、公私ともに頑張り、よりよい東アジアの実現に貢献できたらと考えています。

学園長から

学園の時は、スポーツやボーイスカウトの活動、大学受験などを通じてたくさんのことを経験しましたね。大学卒業後、北欧への一人旅の経験、韓国への留学もありました。

錦町合同防災訓練 (150 名余り参加) 3/6

立川消防署錦町出張所、立川市防災課長、町会、法人と合同で防災訓練をしました。防災に関する連携関係作りができたことは、大きな意義がありました。



写真:
消防車と
起震車と
参加者

立川市からの起震車による体験や、いただいた非常食での炊きだし訓練、消火器の使い方などには子どもたちも参加しました。

小さい子たちも職員のおねえさんと一緒に消火器の使い方を教えてもらいました。



ご協力ありがとうございました

(敬称略)

ゴールドマン・サックス証券株式会社 ホリデーパーティ



(12/12) 社員の方と一緒にゲームをして楽しみました。

建設や活動資金だけでなく、砂場や花壇づくり、クリスマスプレゼントをいただいたりと、さまざまなボランティア活動でご協力いただいています。

ご招待

- ・Jリーグ 11/20 東京善意銀行を通じて
- ・映画「ブタがいた教室」 11/23
立川親と子のよい映画をみる会
- ・高島屋コンサート 12/15 高島屋
- ・資生堂「社会への巣立ちフェスティバル」 3/6

子どもたちの活動

- ・児童館での活動 明星大学 BUKAS
- ・「英語で遊ぼう」 横田ベース
- ・美容(髪のカットなど) さくらグループ HAREKE
- ・学習支援(勉強会)
慶應義塾大学ライチウス会、日本女子大ライチウス会
<この他にもたくさんの皆様方からご協力いただきました>

おたよりのご紹介

『この子らと生きる』を読んで (抜粋)

- ライチウス会での活動を通じて大切な思い出がいくつ胸の中に残っています。…このご本によって小生はあらためて、創設者稲永久一郎翁以来営々と受け継がれてきた至誠学園の志の高さと先生の情熱をうかがい知ることができました。…同期の諸君にもぜひ読ませたいと… ライチウス OB 会 I 氏
- 先日は「この子らと生きる」著書を賜り、誠にありがとうございました。さっそく機上で読ませていただきました。なぜか涙がとまりませんでした。先生のご一族の歴史が、一部私の家族のそれと共鳴したのかも知れません。 児童養護施設長 K 氏
(この本の紹介は 8 ページをご覧ください)

ガールスカウト東京 158 団

初釜 1/22

小さい子どもたちも上手にお菓子をとり分けることができました。



ボーイスカウト立川第四団

副団委員長の岩谷治様のご逝去されました。心よりお悔やみ申し上げます。

日本児童養護実践学会で発表

2月12、13日に第3回の研究大会が昭和女子大学で行われました。4つの分科会に分かれ、12の発題がありました。

至誠学園から兎澤主任が「児童養護施設におけるリーダー層職員の育成について」、清水豪心理職員が「児童養護施設における園芸療法の導入可能性について～ある児童養護施設における短期卓上園芸療法の試みを通して」、至誠大地の家から木山主任が「家族と寄り添う ～至誠大地の家 家族支援の取り組み」、高橋施設長が「ITを活用した情報の共有～至誠学園・至誠大地の家の取り組み」を発表しました。

<高橋誠一郎施設長>

松島賞受賞 お祝いパーティ 1/12



全国社会福祉協議会 児童養護施設協議会 初代会長故松島正儀氏が研究奨励としてご寄付くださったもので、児童養護施設職員の優れた研究に贈られており毎年3本が対象となっています。学園の紀要3号の掲載論文が評価されました。

「児童養護施設職員の自己覚知に関する研究」 兎澤聖職員
 「専門機能強化型養護施設における多職種連携」 水野周子職員
 「児童養護施設における園芸療法の導入可能性」 清水豪職員

グループホーム探訪シリーズ 第1回
 「小規模児童養護施設 協力型グループホーム」

手狭になった小規模児童養護施設日野キッズは日野ヴィレッジの隣に移転し、2つのグループホームはお隣同士となりました。特に夜間など、お隣に職員がいると思うと安心できますとは職員の声。お互い協力して新しい運営の方法を模索しています。



生活感あふれる外観



リビングに集まって思い思いに過ごす



日野ヴィレッジの外観と子どもたちの宿題の場のリビング
 (次回は並木の家をご紹介します)



高橋利一学園長の近況

このたび、著書「この子らと生きる-私の至誠学園物語」を出版いたしました。ご希望の方は学園までご連絡下さい。
 FAX 042-524-2367
 メール info@shiseigakuen.org



受験生情報

中学3年生 5名全員が高校へ進学
 高校3年生 6名のうち5名が進学(大学・専門学校)
 1名の就職が決定

■第三者評価を受けました

昨年同様、INS ジャパンにより、子どもたち、職員の聞き取り等が終了しました。結果は東京福祉ナビのホームページに掲載されます。

■ショートステイ(立川市・日野市)

原則としてショートステイ専用のお部屋で受け入れていますが、定期的利用のケースでは、学園の子どもたちとすっかり仲良しになって溶け込んでいます。先日はバレンタインチョコつくり、担当職員と一緒に一生懸命取り組んでいました。

編集後記

東北東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

この学園だよりは児童事業本部広報委員会の作成ですが、写真を撮り、情報を提供して下さる職員や関係皆様のご協力によって作られています。

なんといっても学園だよりを待っていて下さる方々、至誠学園とともに「共に歩もう」として下さっている方々に感謝申し上げます。 広報委員会一同

行事中止のお知らせ

4月29日に予定しておりました至誠学園60周年記念行事及びガーデンパーティは中止とさせていただきます。また新たな形で計画したいと思います。実行委員の皆様及びご協力いただいている皆様においては、どうぞご了承くださいませようお願い申し上げます。